

12 月 14 日：VN 指数は引け間際に下落 (VN-Index -0.37%)

- 米国が金利を据え置いたことから、VN 指数は上昇して取引を開始した。さらに、FRB は 2024 年に 3 度の利下げを示唆した。
- しかしながら、直近の下落や低い流動性から投資家心理は好転しておらず、上昇は続かなかった。
- 指数は前日終値付近まで下落し、横ばいが続いた。
- 14 時前に下落幅が大きくなり、押し目買いで支えることは出来なかった。
- 138 銘柄が上昇、384 銘柄が下落、85 銘柄は変わらずと幅広い銘柄が売られた。
- 流動性は悪化し、前日比 24.8%減の 14.6 兆ドンとなった。

VN30 指数も下落(VN-30 -0.21%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 7 銘柄、下落が 17 銘柄、変わらずが 6 銘柄となった。
- 銘柄別では、VCB (+0.84%)、FPT (+1.05%)、ACB (+0.90%) などが指数の上昇に貢献した。
- 一方、SAB (-1.56%)、STB (-1.28%)、MSN (-1.22%)、HPG (-1.10%) などが下落した。

セクター・個別株の動き

- POM (-6.91%) はストップ安。同社社長の親族が同社株式を売却し続けていることが悪材料視された。
- VHC (-2.51%) は 11 月の売上が悲観的だったことで下落。パンガシウスセグメントが前年同期比で 22%減、前月比で 15%減となっている。
- 外国人投資家は 3560 億ドンの売り越しとなった。CTG と STB に売りが集まった。一方、目立った買い越し銘柄は無かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。